

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	在宅乳幼児親子教室開催事業	シート番号	014-054
担当部署名	子ども青少年 局 子ども青少年育成 部 子ども家庭 課	評価責任者(課長名)	石戸

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	2	社会全体で子どもをはぐくむ仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	昭和 57 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	堺市子ども・子育て支援事業計画			
5	事業実施の経緯	発達上の課題や経過観察の必要がある在宅乳幼児及びその保護者に対して適切な援助を行うことにより、当該乳幼児の健全な発達を促進することを目的として開始。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	主に保健センターが実施する乳幼児健診において、発達のみならずが疑われる在宅の乳幼児とその家族で、教室の参加を希望する者					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	集団指導が必要とされた在宅乳幼児とその保護者に対して適切な援助を行うことにより、当該乳幼児の健全な発達を促進し、さらには適切な次の進路へとつなげることを目的とする。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市内全9教室において、月1回集団保育による経過観察や保護者指導を行って、子どもの療育の必要性を見極め、適切な進路指導を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
10	直接実施以外の主な支出先							

Ⅲ. 投入量

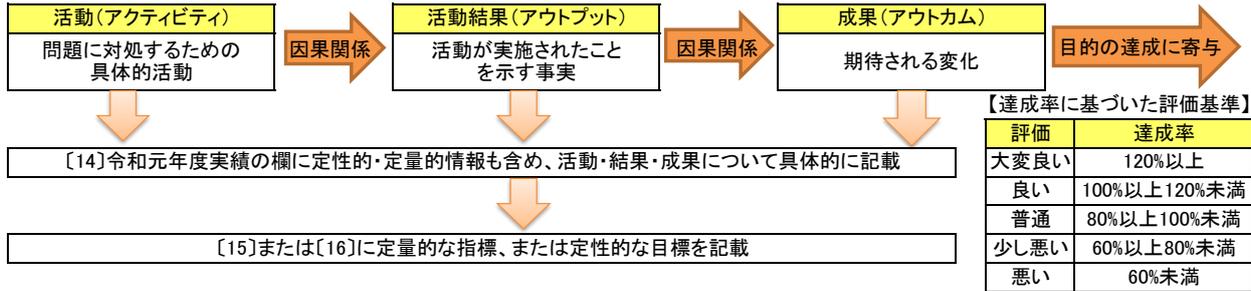
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費(a)	千円	2,346	2,251	2,694	2,457	2,422	2,368	2,366
	主な事業費内訳								
	報償費	千円	1,811	1,821	1,924	1,760	1,924	1,965	1,924
	役務費	千円	266	253	503	498	265	216	266
	需用費	千円	241	177	239	199	205	187	176
	報酬	千円	28	0	28	0	28	0	0
	財源内訳								
	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円	2,346	2,251	2,694	2,457	2,422	2,368	2,366
12	人件費(b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,620	1,640
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	3,986	3,891	4,334	4,097	4,062	3,988	4,006

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	在宅乳幼児親子教室開催事業	シート番号	014-054
-------	---------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	令和元年度では、281人に対して支援を行った。 月1回市内9教室で親子やグループで様々な遊びのプログラムを通じ、乳幼児の発達を促すとともに保護者が子どもとの関わり方を学ぶ場を提供した。また、経過観察や保護者指導を行った中で、療育が必要な子どもについては、早期に適切な機関へとつないだ。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		実参加児童数	人	目標値	-	-	-	-
			実績値	273	296	281	-	
			達成率	-	-	-	-	
			評価	-	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		実参加児童数の増加をめざしているのではなく、対象者へ適切な援助を目的としているため目標値は設定しない。					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値	-	-	-	-		
		実績値	-	-	-	-		
		達成率	-	-	-	-		
		評価	-	-	-	-		

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	実参加児童数	人	273	296	281
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,891	4,097	3,988
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	14,253	13,841	14,192
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	実参加児童数	人	-	-	-
	②	上記①にかかる年間経費	千円	-	-	-
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	-	-	-
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	保健センターの乳幼児健診後のフォローであり、サービスの対象者は限定されるが、参加児童数はほぼ横ばいで推移しており、児童の健全な発達を促進するため一定の役割を果たしている。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	在宅乳幼児親子教室開催事業	シート番号	014-054
-------	---------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 発達に課題がある等療育が必要な乳幼児を適切な機関へつなげず、早期発見・早期療育ができなくなる。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 1歳半健診後の時期の乳幼児を対象としているため、休止(延期)することはできない。また、休止(延期)すると早期発見・早期療育ができなくなる。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 経過観察を必要とする乳幼児を対象としており、各区保健センターにおいて、月1回の最低限の回数で行っているため縮小できない。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 親子に集団指導・保育を行っているため、3密を避けるため、1回の定員を制限している。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (各区保健センター) 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 本事業は、各区保健センターで実施されており、また、各自治体でも実施されていることから連携はとれていると考える。経過観察など対面での支援が必要となるので、ICT活用の改善余地はない。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充		実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大			
		所見 新型コロナウイルスの状況等を踏まえ、3密をさけるために定員の制限など柔軟な対応をしながら、事業の実施を今後もしていく必要がある。			